

南越農林だより

HELLO!
はじめ
まして

農業。大好き!

外で体を動かすのが大好きで、中学校の時から農業に憧れていました。2年前に農業の専門大学である(茨城県の)銚子学園を卒業し、現在は地元の専業農家(河野小市郎さん)のところで研修中です。

実際、やってみると天候に左右されたり、機械もただ乗っているだけではダメで、いろいろ細かいことにも気配りしないといけないことが分かり、農業の難しさとやりがいを実感しています。

将来の夢は仲間をつくり、会社経営の形態で農業をすることです。

武生市塚町 井上和憲(24歳)



〈農業経営支援部から一言〉

趣味は柔道と読書で、現在、彼女募集中の井上さんです。とてもパワフルで、頼りがいのある好青年です。今後の活躍を期待しています。

FIGHT!
がんばって
います

昔懐かし田舎の味を再現したい

四季菜加工グループ「サラダ会」

しきさい

昨年12月にオープンした南条農産物直売所「四季菜」の一角に、色とりどりの惣菜やご飯類が、所狭しと並んでいます。これら手作り加工品を作っているのは、さっそうとオレンジ色のエプロン姿で身を包んだサラダ会の皆さんです。「子供の頃に、おばあちゃんやお母さんが作ってくれた手作りおやつや惣菜を、今度は自分たちの手で再現したい!」と集まった12名。年齢こそ40歳代から70歳代と幅広いですが、まるで姉妹や母娘のように和気あいあい、志は皆同じ。

お店に出す定番商品数は、毎日25~30アイテム。その中でも「おはぎ」や「炊き込みご飯」「きんぴら」「煮豆」などは目玉商品で、開店早々すぐに売り切れてしまうこともあるとか。

8月24日には、四季菜がオープンして以来、来客5万人を達成。

地域の「食」の情報発信基地として、四季菜とともに、今後の活躍が益々楽しみなサラダ会です。

【南越前町臨本 TEL0778-47-8385】



南越農林総合事務所

武生市上太田町41-5 TEL (0778) 23-4545

URL <http://info.pref.fukui.jp/nourin/sougou/nanetsu/>

E-mail nan-naso@pref.fukui.lg.jp



平成17年9月16日

NO.17

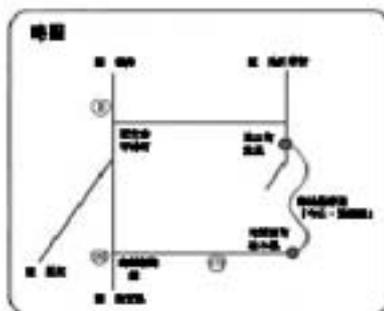
森林基幹道『今庄・池田線』起工式

“南越前町柚木俣－池田町魚見”

南越前町(旧今庄町)と池田町の両町住民より強い要望のあった、森林基幹道「今庄・池田線」の起工式が7月20日に行われました。

この林道は、南越前町柚木俣と池田町魚見を連絡する幅員5.0m・延長6.8kmの森林基幹道で、概事業費約18億円で平成24年度完成を予定しております。

完成後には、約1,300haの周辺森林の整備のほか、両町間の人・物の交流の活性化による山村定住条件にも大きな役割を果たすものと期待されます。



南越前町長による式辞



南越前森林組合事務所長による工事概要報告

～スギの産直販売に向けて～

森林所有者のグループの新たなチャレンジ

池田町下池田地区の森林所有者で結成する“下池田林業活性化グループ”が、同町白栗の森林および大本渓流館で『池田スギの産直販売に向けての交流会』を8月24日に開催しました。生産者が直接、豊富な大径木や品質の良さをPRする画期的な取組みです。

白栗の現地見学会では、施主や工務店、設計士ら約80名の方が参加し、手入れの行き届いた森林の状況や大径木の伐採を見学し、池田スギの良さを実感しました。また、大本渓流館においては、森林所有者・工務店・設計士間で意見交換会を行いました。率直な意見が飛び交い、それぞれの立場や現状について理解または共有ができ、有意義な交流会となりました。



現地での伐採状況



参加者による交流会

日野川用水農体験学習塾

「水と緑のふれあいフェスタ'05」開催

～豊かな自然大壁面 王子保小学校児童 完成祝い～

武生市大塚町の日野川用水施設「国営左岸幹線調整槽」前の広場で、8月4日に日野川用水農体験学習塾「水と緑のふれあいフェスタ'05」が開かれました。

王子保小学校4年生と6年生合わせて約180人と関係者らが出席し、同小児童の協力で作成した壁面が調整槽に飾られ、その披露が行われました。

大壁面は、四年生が担当した日野川用水を題材とした「楽しい川遊び」と、六年生の日野山を描いた「さあ登ろう！ふるさとの山、"日野山"」で構成されています。

同フェスタは、水と食、農業のかかわりについて学んでもらおうと、水土里ネット日野川(日野川用水土地改良区)が昨年からはじめたもので、今年は、自然の大切さや日野川用水の役割を学んでもらおうと同小の児童に協力をお願いしたもので、同改良区的美濃理事長が「力を合わせて作ったすばらしい作品で末永く保存していきたい」と挨拶しました。

4年生作品



「楽しい川遊び」

6年生作品



「さあ登ろう！ふるさとの山、"日野山"」

「松ヶ鼻わくわく学校」田んぼの生き物調査

北日野小学校児童が調査隊員として参加

水土里ネット松ヶ鼻(松ヶ鼻土地改良区)と北陸農政局日野川用水農業水利事業所との共催で、8月8日「松ヶ鼻わくわく学校」田んぼの生き物調査が行われました。

調査隊員として、北日野小学校児童約40名および水土里ネットふくい、県南越農林総合事務所が参加し、田んぼのまわりの水路(松ヶ鼻西江用水路)にどんな生き物がいるかを探しました。

調査隊員は夏の日差しが照りつける中、元気に網とバケツをもって水深10センチ程度の水路の中に入り、生き物を探っていました。

また、ペットボトルで作った仕掛けや網で、メダカなどの生き物を採取し、体長などを測定して調査票に書き込み、「たくさんの種類の生き物」に小学生隊員は驚きの表情でした。

生き物調査は、農林水産省が環境と調和した農村整備事業を進めようと2001年から実施しているもので、今回の調査で生き物や自然の大切さを学ぶことができました。



堆きゅう肥を利用した土づくり



水稲、大麦、大豆、野菜などの生産性を高める上で、堆きゅう肥施用による土づくりが非常に有効ですが、『良質堆肥の入手が難しい』『散布に手間がかかる』などの理由で、残念ながら積極的に利用されていません。しかし、管内の酪農や養豚、養鶏農家から多くの堆きゅう肥が生産されており、これを上手に利用することで農作物の収量・品質を高めることができます。ぜひ利用して下さい。

堆きゅう肥利用のポイント

- 堆きゅう肥の種類により、施用後の効果が異なります(表1)。
- そのため、使用目的に応じて、堆きゅう肥を使い分けることが大切です(表2)。
- 一度に多量に施用すると失敗の原因となりますので、栽培する作物に合わせて施用量を決めましょう(表3)。

表1 堆きゅう肥の一般的な特徴

堆きゅう肥の種類	特 徴
牛ふん初熟堆肥	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素、燐酸、加里が1~2%程度と少ないが、養分の偏りが少なく肥効が穏やかである ・未熟なものを多量に使用すると窒素飢餓を招く恐れがある
豚ふん初熟堆肥	<ul style="list-style-type: none"> ・油粕や魚粕等の有機質肥料と牛ふん・初熟堆肥の中間的な性格である ・窒素の要求量が高い作物に利用するとよい
鶏ふん堆肥	<ul style="list-style-type: none"> ・分解が速く、有機質肥料としての性格が強い ・窒素の肥効が化学肥料の70%程度あり化学肥料に近い効果がある ・ハウス栽培ではガス害を避けるため作付け2週間以上前に施用する
初熟堆肥	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素、燐酸、加里が少なく肥料的な効果は期待できない ・土壌中の有機物を増加させ、通気性や透水性を高める ・未熟なものを多量に使用すると窒素飢餓を招く

表2 使用目的による堆きゅう肥の使い分け

使用目的	適する堆きゅう肥の種類
土壌が固まりやすいので、通気性を高めたい	初熟堆肥、牛ふん初熟堆肥
土壌の肥沃度が低いので、地力を高めたい	牛ふん初熟堆肥、豚ふん初熟堆肥
連作障害対策として土壌微生物を増やしたい	牛ふん初熟堆肥、豚ふん初熟堆肥
化学肥料の使用量を減らしたい	豚ふん初熟堆肥、鶏ふん堆肥



表3 堆きゅう肥施用の目安(t/10a)

作物タイプ	牛ふん初熟堆肥	豚ふん初熟堆肥	鶏ふん堆肥
少肥型	1~2	1~2	0.4~1
中肥型	1.3~2.5	1.2~2.5	0.6~1.5
多肥型	2~4	1.7~3.5	1~2

少肥型：N、K₂O基準量が20kg/10a以下(水稲、大麦、大豆、ジャガイモ、ホウレンソウなど)
 中肥型：N、K₂O基準量が25kg/10a以下(キャベツ、トマト、スイカなど)
 多肥型：N、K₂O基準量が30~35kg/10a(ナス、ピーマン、キュウリなど)

堆きゅう肥の入手先がわからない場合は、下記にお問い合わせ下さい。また、堆きゅう肥利用に関する技術資料がありますので、ご希望の方は南越農林総合事務所までお越し下さい。

担当：技術経営支援課 佐藤(内線267)

「農家民宿」を始めました。



平沢一広さん



波辺良明さん



畑田幸雄さん

？ 農家民宿とは ？

農作業・森林作業や収穫物の加工、郷土料理作り等の農林漁業体験を通じて、農林漁業に対する理解を深めていただくようなサービスを提供する宿泊施設です。

構造改革特区の対象となっている今立町内では、今年5月20日、平沢一広さん(杉尾)、波辺良明さん(高岡)、畑田幸雄さん(南坂下)の3名の方が農家民宿の営業許可を受けられました。

皆さんから開業のきっかけについてお聞きすると、「消費者との会話が楽しみ」とか、「(自分が)農家であることと農産物を営んでいることに対するやりがいを得たかったから」とのこと。畑田さんの家は「いろり庵」、波辺さんの家は「ログ・ハウス」、そして農家らしい平沢さんの家と、それぞれに個性があることが農家民宿の魅力ではないでしょうか。

なお、本年度より南越農林総合事務所では農家民宿開業に関する相談業務も行っていきますので、お気軽にお越しください。

担当：地域農業振興課 池上(内線263)



南越 味わい・ふれあいスタンプラリー

スタンプを集めて、特産品や工芸品をゲットしよう。

南越管内には、体験交流活動や農産物の直売などに取り組まれているグループ等が数多くあります。そのグループの皆さん(26グループ)が集まり、お互いにPRするため、スタンプラリーに取り組んでいます。

【応募方法】

南越農林総合事務所ホームページ上に掲載している施設を利用して体験または買い物等をして下さい。

500円ごとにスタンプを1つ押印します。

体験施設で1つ、その他で2つ、合計3つのスタンプを右の台紙に集めて、郵送してください。

・問い合わせ先

地域農業振興課 担当：池上(内線263)

・応募締め切り (抽選および当選者)

平成17年11月30日(水)

(抽選平成17年12月中旬23名様)

・当選発表

南越農林総合事務所ホームページ上でお知らせします。

<http://info.pref.fuku.jp/nourin.sougou/nanetsu>

キリトリ

農業体験施設および買い物(食事)500円ごとにスタンプを1回捺印。スタンプを3つ集めてご応募下さい。

体験施設のみ	利用施設名	月 日
体験 または 買い物(食事)	利用施設名	月 日
体験 または 買い物(食事)	利用施設名	月 日
景品	・成生市コース ・藤江市コース ・今立町コース ・池田町コース ・南越前町コース	

- * 体験施設で最低1つスタンプを集めてね!!
- * 利用施設名や利用月日も忘れず記入して下さい。
- * ご希望される景品のコースに〇印をつけてください。

キリトリ



昨年度発行した「お米にまつわる伝承料理 レシピ集—コメこめ七変化—」から、今回は「かりんとう」の作り方をご紹介します。



かりんとう



材料

- A 米粉(上新粉).....3カップ
牛乳.....1カップ
卵.....1個
水.....大さじ1/2

- ・揚げ油
【蜜】
砂糖(好みて黒砂糖を使う)
塩または青のり(好みに合わせて)

作り方

- ① (A)を耳たぶの固さにねります。出来れば、生地をサランラップにくるんで、一晩冷蔵庫でねかせます。
- ② 適当な大きさに切って油で揚げます。
- ③ 蜜は、砂糖と水を合わせて、一煮たちさせて冷まします。
- ④ ②を蜜にからめます。又は好みて青のりをまぜたり、塩であっさり仕上げてもおいしく召し上がれます。

興味のある方は、ふるってご参加下さい！

キリトリ

POST CARD

9 1 5 - 0 8 8 2

50円切手
を貼って
下さい

武生市上太田町41-5

南越農林総合事務所
農業経営支援部 行

フリガナ	
氏名	
住所	〒
TEL	() -
E-mail	
メールマガジンの配信を 希望する	

■ご記入頂きました個人情報については、商品の発送や開演イベント等の案内に使用させて頂くことがありますので、予めご了承下さい。
■また、E-mailアドレスをお持ちで、スタンプラリーに関する情報をお届けするメールマガジン配信を希望される方は、「希望する」に○印をつけてください。
なお、応募いただく際にもメールマガジンを配信いたします。その際は、氏名、ご住所を明記の上、nan-noso@pref.fukui.lg.jpまでご連絡ください。

○大麦栽培・土づくり関連機械現地研修会○

大麦の収量品質の向上を図るため、大麦栽培の技術研修と併せて、圃場の排水促進、土づくり等に関連する研修を開催します。

と き:9月29日(木)13:30~
ところ:研修会場(今立町野岡)
JAたんなん今立ふれあいセンター
実演会場(今立町山室)

研修会:「大麦栽培における排水対策等のポイント」(農業試験場)、「平成18年産大麦の収量・品質向上」など
機械実演会:「大麦栽培・土づくり関連機械」畦墾機、均平、プラソイラー、溝掘機など

担当:技術経営支援課 冬廣、田中利(内線267、272)

○食品衛生・加工に関する講習会○

これから農林水産物を使って起業を考えている農業者の皆さんを対象に、講習会を開催します。

と き:10月12日(水)14:00~
ところ:南越合同庁舎 研修館2階第1研修室
内 容:「営業許可の種類と申請手続きおよび加工品の表示方法について」

担当:技術経営支援課 榎本(内線268)

※準備の都合上、出席を希望される方は南越農林総合事務所までご連絡下さい。